

おしかた



押方小学校通信 No.8 (12月号) R7.12.24

文責 校長：黒木

今月の全校朝会の話 『挨拶に込められた「命の願い」』

12月



本校では、「夢や希望を抱きながら、やさしく、かしこく、たくましく生きる心豊かな児童の育成」を教育目標に掲げ、この実現に向けた四つの重点事項「命の尊重・学力向上・体力向上・信頼される学校」のうち、私たちは「**命の尊重**」を最も大切な土台として位置づけています。

今年も残すところあとわずかとなった12月、全校児童に向けて、普段何気なく交わしている「挨拶の言葉」に込められた、深い「命の願い」について話をしました。

★「行ってきます」「ただいま」の深い意味★

児童たちに「家を出るとき、何て言いますか？」と尋ねると、「**行ってきます！**」と元気な声が返ってきます。この日常の挨拶には、私たちが想像する以上に、大切な人の命を願う気持ちが込められています。

「行ってきます」は、「行って、必ず生きて帰って来ます」という**決意と誓い**が込められた言葉です。そして、それに応える「**行ってらっしゃい**」は、「行って、必ず生きて帰ってきてください」という、見送る人の**切なる願い**が込められています。

また、「**ただいま**」は、「今、この瞬間に、無事に生きて帰ってきました」という報告の言葉を短くしたものであり、「**おかえり**」の裏には「無事に帰ってきてくれてありがとう」という感謝の気持ちが隠れています。

昔の旅は命がけでした。だからこそ、こうした挨拶の言葉一つひとつに、大切な人とまた会えることを願う、「命の尊重」の精神が凝縮されていたのです。

★言葉の力と「生きる」ことへの感謝★

日本には、口にすることが現実^{ことだま}に起きるという「言霊」の信仰があります。挨拶のもつこの深い意味や、戦時中に二度と帰れない覚悟で「行きます」とだけ言った特攻隊の歴史などについても伝えています。



この話を通じて、子どもたちに感じてほしいのは、以下の2点です。

★「行ってきます」「ただいま」と当たり前^{ことだま}に言える日常への感謝。

★言葉には大きな力があり、一つ一つの言葉を大切に使うこと。

12月は慌ただしくなりますが、子どもたちには挨拶の言葉に込められた「命の願い」を思い出し、自分自身の命、そして友達^{ことだま}の命を大切にする行動を実践してほしいと願っています。

笑顔輝く押方小学校で、残りの日々も全力で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご協力を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

主な行事の様子

11/12～14 6年:修学旅行
長崎、佐賀、福岡に2泊3日



11/13 1～5年:秋の遠足
須美江海岸・水族館、岸上蒲鉾へ



11/19 郡PTA研究大会
押方小PTAの活動発表は、とても好評でした。



11/20 1・2年:町探検
三田井の町を探検してきました！



11/25 避難訓練(火災)



11/26 5・6年:お米学習



11/28 国際交流会



12/3 非行防止教室



12/5 持久走大会



1月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
12/28	29 年末年始の休日	30 年末年始の休日	31 年末年始の休日	1 祝日： 元日	2 年末年始の休日	3
4	5	6	7 始業の日 PTAあいさつ(生環)	8	9	10
11	12 祝日： 成人の日	13	14 CRT(国・社)	15 CRT(算・理) フッ化物洗口	16 町子育て講演会	17
18	19	20 租税教室(5・6年) 誕生日給食	21	22 フッ化物洗口	23 給食感謝集会	24
25	26	27	28	29 フッ化物洗口	30	31

※ 押方小ホームページ閲覧者が100万人を超えました！
今後も子どもたちの様子の他、学校通信や給食献立
等もあげていきます。これからも、よろしくお願い
します。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/l802/>

